



村役場前の約4㉩を開発して行います。(左・区域図、右・役場屋上から撮影)

基本計画が | 交流拠点 できました 複合施設

福祉や保健、生涯学習、地域づくりなどの場として、皆さんが気軽に訪れ交流を深める「滝沢村交流拠点複合施設」の基本計画ができました。

場所は、役場前の約4㉩を開発して行います。

今後は、基本設計・実施設計に基本計画を反映させていきます。

―これまでの経過―

交流拠点複合施設の内容について、作業部会（3部会延べ11回）と検討委員会（全5回）を行い検討してきました。

これは、先の方針書（広報やホームページに掲載）をもとに、団体等説明会（34団体23回）などで寄せられた意見を書き出し、ワークショップや類似施設の情報、コンサルタントのノウハウなどを加え検討してきたもので、県立大学との共同研究により行いました。内容の一部について、広報たきざわ1月号でお知らせしましたが、本基本計画は、複合施設の目的や各部屋の機能、整備方針、敷

地配置、概算事業費、スケジュールなどで構成しています。



基本計画について検討を重ねてきました

―検討委員会提言書―

第三者機関として8人の検討委員（委員長・岩手県立大学福祉経営学科長 狩野徹教授）で基本計画について審議していただきました。そのまとめとして次のような提言がありました。

- ・この基本計画を施設設計に反映し、整備後はその実施のための運営委員会の設置が必要。
- ・交流拠点を目指す複合施設にとって公共交通は必要不可欠なものであること。
- ・ユニバーサルデザインは、

特に冬季間などに配慮した利用者本位のものを。
・整備費、ランニングコスト、使い勝手の調和を図ること。
・村民の財産である自然との調和を図り観光なども発信される施設に。

―複合施設の概要―

- ・延床面積5千平方メートル
- ・図書館、500席程度の移動観覧席を有した大ホール、小ホール、大・中・小の活動室（会議室）、交流スペース、クッキングスタジオ、創作室、和室、キッズルーム、相談室、団体ルーム、喫茶コーナー、市民活動支援センターなどで構成します。
- ・全ての村民の学習・交流・活動支援施設として、発信や創造の行われる施設とし、拠点機能を持ち、また複合化することでの施設の利用効率を上げ効果的に交流ができるように工夫します。

―事業費―

- 複合施設（建物20億）、産業雇用創造センター（建物2億）、消防屯所（建物5千万）・その他土木工事費・用地・測量・設計費・備品購入費の計34・4億円

「市民活動支援センター」
 公益的な要素（公平性、透明性、営利を目的としないなど）を持つ団体を市民活動団体と位置付け、相談や講習会、PR、ネットワーク化などで支援することで、今後拡大が予想される住民の活動に備えます。

「設計の指針「居室カルテ」」
 今回の検討の特徴は、「居室カルテ」というものを作ったことです。各部屋や空間ごとに説明会や検討委員会、庁内の会議などで寄せられた意見をカルテに書き出し、その意図や実際どうすれば使いやすく利用者ニーズに合ったものになるかを作業部会のワークショップで練ってきました。

居室カルテは、基本計画書に入っており、今後の設計の基礎資料となります。

「プロポーザル方式で」
 平成24年度早々からプロポーザル（※）で設計者を選定します。

※プロポーザル 設計者を選定するための手法で、全国から提案を募るもので、

今回の場合3つの施設と面整備を総合的に提案していただきます。

「計画書を公開」
 計画書や提言書をホームページで公開しています。印刷物が必要な場合はお問い合わせください。

意見や要望などがありましたら気軽に寄せください。

●問い合わせ
 交流拠点整備室（内線398）
 ※4月から交流拠点整備室ができました。

今後の予定スケジュール

実施年	種別
平成24年度	プロポーザル公募、基本設計、用地交渉
平成25年度	用地取得、実施設計、造成工事
平成26年度～27年度	造成工事、建築工事
平成28年度	施設OPEN

コミュニティ活動の充実に活用



この事業は宝くじ社会貢献広報事業を活用し実施しました

「写真」日差しや雨をしのげるように（右）テントの内側には「クーちゃん」が描かれています（下）



姥屋敷自治会、宝くじ助成で
 野外ステージテントを整備

姥屋敷自治会（佐久間康徳会長）では、（財）自治総合センターが宝くじ普及広報事業として行っている「コミュニティ助成事業（一般コミュニティ助成事業）」の助成金で、野外ステージテントを整備しました。

このテントは、毎年8月の「夏祭り」や開拓者の労苦を顕彰する「拓魂祭」、「敬老会」などの会場となる姥屋敷小中学校に隣接する通称“お祭り広場”の広さにあわせて作られ、雨天時でも濡れないように会場全体を覆うことが出来るようにしたものです。

佐久間会長は、「晴天時は日差しを、雨天時には雨をしのげるようになりました。今回助成いただいたテントを大いに活用し、さらにコミュニティ活動を盛り上げていきたいです。」と話していました。ことしのイベントでの活用が楽しみです。